

## アスナビでアスリート2人内定。次回は3月21日に開催

4月6日に開催した、企業と現役トップアスリートをマッチングする就職支援制度「アスナビ」説明会（経済同友会と日本オリンピック委員会（JOC）の共催）を通じ、当日プレゼンテーションしたアスリートのうち2人が会員所属企業に内定した。



内定した山本選手（左から2人目）と齊藤選手（中央）

内定したのはタナチョーにトライアスロンの山本稜弥選手、プランテックにパラ卓球（車いす）の齊藤元希選手。これによりJOCと他団体の共催分も含めたアスナビ全体の今期内定者は13人、

累計採用決定実績は381人、224社・団体となった。

本会は2010年のスタート時よりアスナビに積極的に協力、JOCと共催して会員所属企業への説明会を実施してきた。今期は前出2人の他にも既に会員所属企業のキッコーマンが水泳・競泳の田中大寛選手、同全日空商事がバレーボール・ビーチバレーボールの上田翔貴選手を採用している。アスナビは企業がトップアスリートに対し安心して競技に取り組める環境を提供することを目的としているが、同時に社員がアスリートと共に働き、応援することによって、組織に新たな活力や一体感を

生み出す効果をもたらしている。

次回は2024年3月21日に日本工業倶楽部で開催する予定。会員本人のほか人事部門担当者などの参加も可能だ。担当する「スポーツとアートによる社会の再生委員会」は、今後もアスナビの認知拡大と、アスリートと企業とのマッチングを支援していく。



### 赤い羽根共同募金にご協力ください

寄付金は地域福祉事業の財源として役立てられます。「つながりを絶やさない社会づくり」を推進しております。

#### ◆物品寄付で、社会貢献と節税を

型落ち、荷崩れ品の在庫などの寄付を受け付けています。全額損金として取り扱いができます。  
 <取り扱い例>家電、自動車、生活家具、衣類（新品）、化粧品など

#### ◆『赤い羽根』マークのご活用を

CSR・SDGs活動の一環として、イベントやホームページなどで『赤い羽根』マークなどをご活用ください。  
 <コラボ事例>赤い羽根配布、寄付金付き商品、募金箱設置

【お問い合わせ】 社会福祉法人 東京都共同募金会 TEL：03-5292-3182



No.863 November 2023

経済同友会 11

C O N T E N T S

特集	Column
共助資本主義 マルチセクター・ダイアローグ 03	私の一文字 野田 由美子 「信じた道を『拓く』」 02
CLOSE-UP 提言	リレートーク 遠藤 直紀 「グルメの投資対効果」 09
年収の壁タスクフォース【意見】 菊地 唯夫 座長	私の思い出写真館 中島 好美 「シンガポールは私のダイバーシティ・インクルージョンの実践道場」 19
多様性を包摂する「公平・中立・簡素」な 社会保険制度への抜本改革を 10	新入会員紹介 17
日本再興ラストチャンス	アスナビでアスリート2人内定。 次回は3月21日に開催 18
“グローバルサウス” 12	赤い羽根共同募金にご協力ください 18